8　保証債務の明細

区分	期首残高		当期増加		当期減少		期末残高		保証料収益
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	金額
国立大学財務・経営センター債務負担金	1	(千円) 6,424,809	—	(千円) —	—	(千円) 814,746	1	(千円) 5,610,062	(千円) —

9　資本金及び資本剰余金の明細

（単位：千円）

区分		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	政府出資金	150,906,960	—	—	150,906,960	
	計	150,906,960	—	—	150,906,960	
資本剰余金	資本剰余金					
	施設費	6,597,356	(82,510) 1,757,732	—	8,355,089	㈱1
	運営費交付金	3,120	—	—	3,120	
	補助金等	10,074,185	—	—	10,074,185	
	寄附金等	3,000	—	—	3,000	
	目的積立金	620,382	535,970	—	1,156,352	㈱2
	政府出資財産	△ 295,495	—	43,387	△ 338,883	㈱3
	政府承継資産	2,431,057	—	—	2,431,057	
	計	19,433,605	2,293,703	43,387	21,683,921	
	損益外減価償却累計額	△ 12,814,360	△ 1,896,921	△ 43,387	△ 14,667,895	㈱3
	損益外減損損失累計額	—	—	—	—	
	差引計	6,619,244	396,781	0	7,016,026	

㈱1．資本剰余金のうち施設費の当期増加額は、看護師宿舎新営及び病棟・母子センター棟改修等に伴うに伴う建物等の取得により建設仮勘定見返施設費から振り替えたものや教育学部２・４号館改修等に伴う建物等の取得及び医学研究院のイメージング解析システム、融合科学研究科の分子集合体機能時空間解析システムの工具器具備品の取得により、預り施設費から振り替えたものです。なお（　）書きは、国立大学財務・経営センターからの受入相応額を内書きで表示しています。

㈱2．資本剰余金のうち目的積立金の当期増加額は、分析センターの有機構造解析システム、医学研究院の全身用Ｘ線ＣＴ装置、社会精神保健教育研究センター改修等による工具器具備品及び建物等の取得により目的積立金から振り替えたものです。

㈱3．資本剰余金のうち政府出資財産及び損益外減価償却累計額の当期減少額は、当法人設立時に出資された資産のうち、経年劣化による除却により生じたものです。